

ジーエルサイエンス株式会社 非接触ID事業本部  
 平成16年9月期 中間決算説明会用  
 上期売上実績報告と下期売上予想

1 - 1 上期売上実績報告 (平成16年4月~9月)

(単位: 千円)

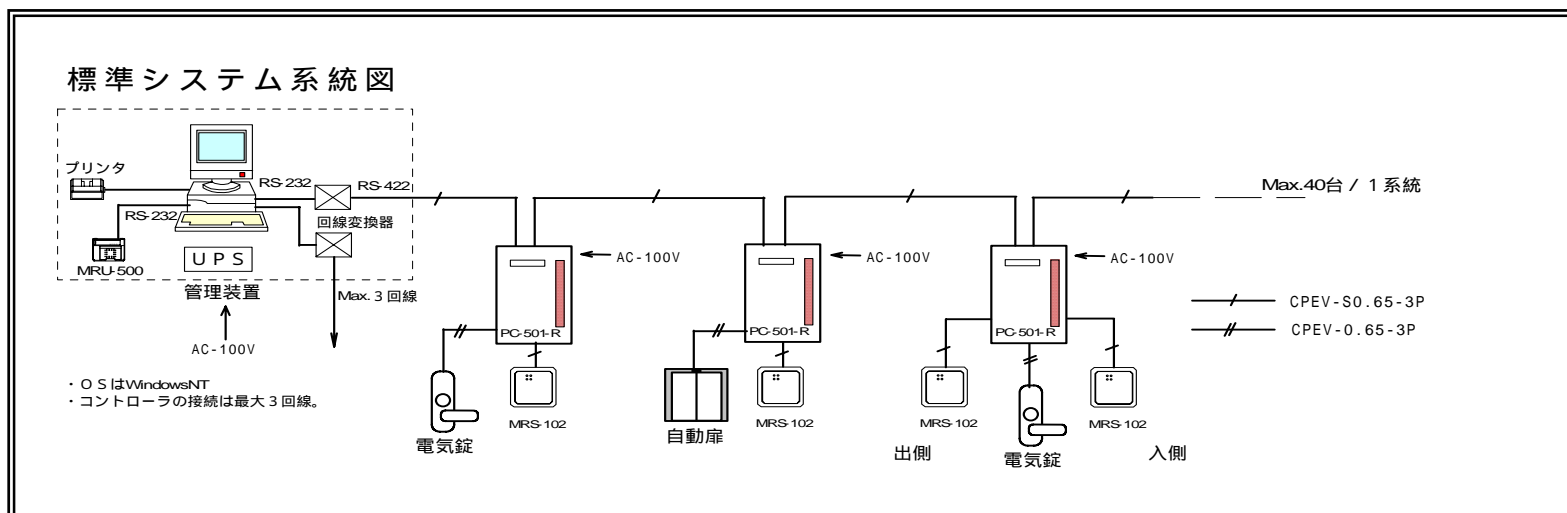
	38期上期売上実績	38期上期計画(対比)	前期実績(対比)
合計	211,637	210,000 (100.8%)	120,031 (176.3%)
システム関連(メンテナンス関係含む)	98,360	98,100 (100.3%)	70,861 (138.8%)
デバイス関連	109,612	96,600 (113.5%)	34,747 (315.4%)
化学物質総合管理システム関連	3,665	15,300 (24.0%)	14,423 (25.4%)

1 - 2 営業状況報告

第38期上期の売上実績は211,637千円で売上計画(210,000千円)達成率100.8%でありました。

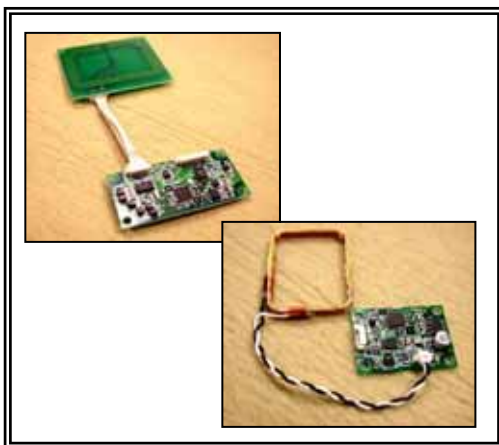
- ・システム関連(メンテナンス関係含む)は上期に予定していた大型案件の客先での棚上げが有り苦戦をしましたが、増設案件やシステムのグレードアップ案件が多く有り計画を若干ですが上回る事が出来ました。

《非接触ID事業本部で営業展開している入退室管理システムのイメージ》



- ・デバイス関連では前年実績を大幅に上回る売上計画96,600千円にて望みましたが、特に機器組込ユニットでの安定継続取引先の受注が計画通り展開された事や新規取引先の増加が目標とした取引先件数アップより若干少なかったものの売上額で計画以上のものが有った事により計画達成率113.5%の109,612千円でありました。

《非接触 ID 事業本部で営業展開しているユニットの一例》



《取引先機器メーカーが製品化している機器の一例》



- ・化学物質総合管理システム関連は前期後半で販売チャネルの変更が有り、今期上期にもその影響が出て苦戦し売上実績3,665千円で計画達成率24.0%と低迷しました。下期のための準備期間であった感が有ります。

《非接触 ID 事業本部が営業展開している化学物質総合管理システム》



2 - 1 下期売上予想 (平成 16 年 10 月 ~ 平成 17 年 3 月)

(単位: 千円)

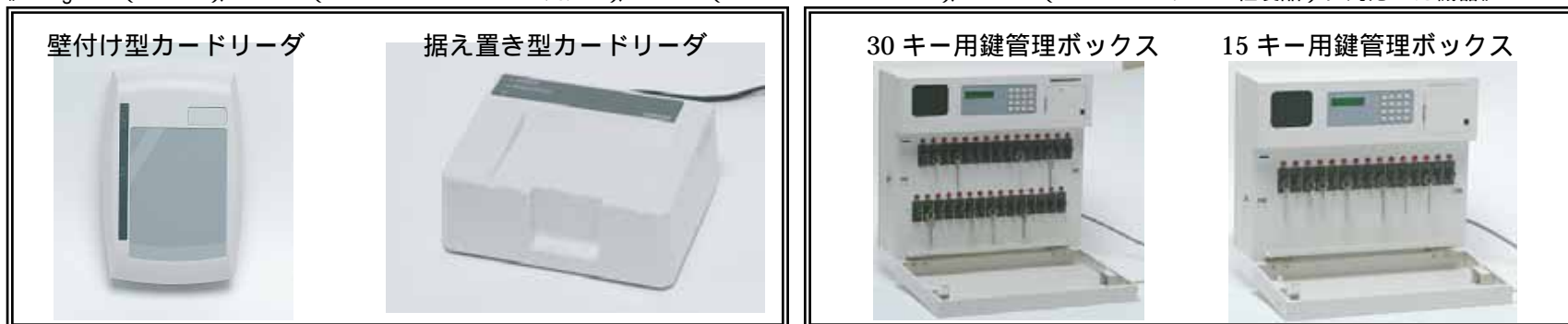
	前期下期売上実績	38 期下期売上予想 (対比)	前期通期実績	38 期通期売上予想 (対比)
合計	2 4 2, 8 7 7	2 8 8, 0 0 0 (118.5%)	3 6 2, 9 0 8	4 9 9, 6 3 7 (137.7%)
システム関連 (メンテナンス関係含む)	1 5 7, 8 1 5	1 2 1, 0 0 0 (76.6%)	2 2 8, 6 7 6	2 1 9, 3 6 0 (95.9%)
デバイス関連	7 3, 6 5 8	1 3 3, 0 0 0 (180.5%)	1 0 8, 4 0 5	2 4 2, 6 1 2 (223.8%)
化学物質総合管理システム関連	1 1, 4 0 4	3 4, 0 0 0 (298.1%)	2 5, 8 2 7	3 7, 6 6 5 (145.8%)

2 - 2 営業状況報告

下期売上予想では 11 月度までは計画通り推移したものの 12 月以降の受注確定見込みが計画の 60% 程度の水準に止まっており、苦戦が予想されます。しかしながら、引き合い情報は上期同様数多く有り、計画達成は充分可能であると考えております。

- ・システム関連 (メンテナンス関係含む) では上期同様大型案件は少ないものの増設や小口の案件が豊富に有り計画の達成は十分可能であると考えております。
- ・デバイス関連では安定取引先へのユニット納入などで受注確定している 4 0, 0 0 0 千円と客先からフォーカス提示をされている 4 0, 0 0 0 千円で約 8 0, 0 0 0 千円は確実であると考えております。これに加え大型案件の今期受注予想分 6 0, 0 0 0 千円があります。現在のこの内 50% 程度が計上出来ると考えておりますが、これを 70% まで引き上げるべく努力しております。  
また、今期下期に製品化できた【壁付け型カードリーダー】や【非接触 IC カード対応鍵管理ボックス】の販促ツールが完成することで積極的な営業展開が可能となります。先行案内による引き合い情報は多くあり、今期での売上目標を 2 0, 0 0 0 千円と設定しております。

《hitag1・2 (125KHz)、mifare (13.56MHz: ISO-14443 タイプ A)、i-code (13.56MHz: ISO-15693)、FeliCa (13.56MHz: ソニー社製品) に対応した機器》



- ・化学物質総合管理システム関連では上期の低迷を挽回できそうな具体的案件の引き合いが多く集まってきております。また、『非接触 ID リーダ式電子天秤』が特許を取得したことにより、入札案件で優位性が持てるものとなりました。現在、有力な営業情報として 2 5, 0 0 0 千円有りますが、これを実現するべく努力している状況です。